



## 戦争法廃止の巨大なうねりを支え、安倍政権の打倒を！



安倍政権は9月19日、戦争法案を強行採決した。9条を破壊し、主権在民を無視する暴挙である。しかし、反対の闘いは、大きなうねりと団結をつくった。シールズ、ママの会、日弁連、学者の会、映画人9条の会、演劇人・舞台表現者の会、1000人委員会など従来のも民主団体、労働組合の枠を超えた国民的な闘いに発展した。

戦争法案反対に結集した団体・個人は、いま、「あきらめない！」「選挙に行こうよ！」「賛成議員を落とそう！」と呼びかけている。私たち新社会党が呼びかけ続けてきた「共同選挙」に近づいている。この成長と力が、先の沖縄衆院選で見せた「共同選挙」を、来年夏の参院選（ダブル選挙の可能性も）で全国的に実現させる力に

なる可能性がある。野党がバラバラで闘い、自公に漁夫の利を与えてはならないのだ。

私たちは安倍政権打倒・戦争法廃止のために何をすべきだろうか。①は、この共同選挙を求める声にしっかりと応え、職場・地域で組織的に支えること。②は、このうねりをさらに拡大するために、幅広い共同運動を再構築し、駅頭・街頭・ビラ・集会・デモなどで訴え続けること、③は、この本流（戦争法廃止）に支流（雇用・原発・辺野古・TPP・消費税・社会保障・格差と貧困など）を大きくしながら合流させる努力を行い、大河の流れにすることではないだろうか。

安倍政権打倒・戦争法廃止の先に、弱肉強食の世界から、もう1つの世界が展望できると確信する。

『月刊まなぶ』企画編集委員 福田 実